

(第三種郵便物認可) 責争

中高生地域部活 意義アピール

音楽×演劇×放送

掛川市のふじのくに文教創造ネットワークは4日、中高生が地域の芸術家らに芸芸を学ぶ地域部活「音楽×演劇×放送文化創造部」のスターティングセレモニーを同市の美感ホールで開いた。シンポジウムや模擬活動の実演を通じて取り組みの意義をアピールした。

(掛川支局・宮坂武司)

齊藤勇理事長は「全員で同じことを練習する従来の部活ではなく、多様な芸術家と出合い自分の好きな世界を主体的に広げる体験ができる場にした」と話した。浜松南高の生徒が活動の様子をイメージした演劇を披露し、特別講師のピアニスト奥村友美さん、声楽家西尾舞衣子さんが記念公演をした。

音楽、演劇、放送の3つの部を設け、地元音楽家や俳優、朗読家らを講師に週3日ほど、美感ホールで活動する。プロとの共演や活動発表などを通して感性を伸ばす。新中学1年生を対象に部員を募集中で、4月に活動を開始する。

活動のイメージを演劇で紹介する浜松南高の生徒
掛川市の美感ホール



写真：地域部活 スターティング・セレモニー 第2部 パフォーマンス・ステージ より
参加アーティスト・指導講師・協力校の高校生たちによる共演「地域部活の一年」
演劇指導：横山 央 (SPAC 俳優) 演劇：浜松南高校吹奏楽部 (協力校)